

## 第 23 回京都肝胆膵外科セミナー

謹啓

晩秋の候、先生方におかれましては益々ご健勝にお過ごしのことと存じます。

さて、『第 23 回京都肝胆膵外科セミナー』の開催要項（第一報）がまとまりましたので、演題応募のお願いと合わせてご案内申し上げます。

今回の主題は「膵頭十二指腸切除を見直す－高度技能専門医取得を意識して－」としました。

膵臓癌の罹患率は増加傾向にあり、比較的早期で見つかる症例や進行した症例など様々であり、化学療法・放射線治療などの前治療後や conversion による外科手術も行われており、集学的治療によりその治療成績は向上しています。術後早期の補助化学療法導入のためにも、合併症を起こさない、より安全かつ正確な手術手技が要求されることより、術式の定型化・標準化を導入している施設が多いかと思えます。

また、肝胆膵外科領域においては、肝胆膵外科高度技能医取得が一つの目標になるため、“高度技能医取得を意識した膵頭十二指腸切除術”にフォーカスをおきたいと考えました。各施設での取り組みを含め、実際に撮影されたビデオを盛り込んだ発表をお願いします。特に高度技能医申請予定/検討されている先生方には積極的な発表を期待したいと思います。皆様のたくさんの応募をお待ちしています。

本会開催にあたり、主題に関連した事前アンケート調査を各施設の幹事の先生方をお願いする予定でありますので、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。改めてご連絡いたします。

ミニレクチャーとしては「肝胆膵外科高度技能医取得までの道」というテーマで実際の高度技能医申請ビデオを中心とした発表を行ない、特別講演として倉敷中央病院外科部長の北川裕久先生に膵頭十二指腸切除の手術手技に関するご講演をいただきます。

なお、プログラム作成の都合上、**演題応募の締切は 2018 年 1 月 15 日**とさせていただきます。

また、昨今のセミナー開催規約により事前に発表スライドの提出および確認作業が必要となりますので、ご理解ご協力を頂けますようお願い申し上げます（**2018 年 3 月 15 日発表スライド提出締切**）。演題応募にはあわせて 200 字程度の簡単な抄録も送っていただければ幸いです（まずはご一報頂いた上で締切までに抄録を送って頂いても構いません。）

ご多忙中のところ誠に恐縮ではございますが万障お繰り合わせの上、京都肝胆膵外科セミナーにご参加いただきますようお願い申し上げます。

謹白

事務局 京都大学肝胆膵・移植外科 増井 俊彦  
京都大学肝胆膵・移植外科 石井 隆道  
北野病院 内田 洋一朗  
京都医療センター 成田 匡大

連絡先(内田) 北野病院 消化器外科 06-6312-8831  
メールアドレス uchiday@kuhp.kyoto-u.ac.jp

記

開催日時: 平成 31 年 3 月 30 日(土) 14:30~17:30  
(開始時刻が 30 分早くなっております)

開催場所: メルパルク京都(JR 京都駅 北側コンコース東詰のビル)  
京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町 676-13  
TEL 075-352-7444

\* 参加費として 1,000 円を徴収させていただきます。  
\* セミナー終了後、情報交換会を予定いたしております。

主催: 京都肝胆膵外科セミナー  
共催: CSL ベーリング株式会社  
後援: 京都大学外科交流センター

# プログラム

(敬称略)

I. 多施設共同臨床試験の進捗状況(DAIMONJI study) (10分)

「膵頭十二指腸切除術後残膵管拡張の臨床的意義とそのリスクファクターの同定」

京都医療センター  
成田 匡大

II. ベーリングセッション(20分)

タイトル:「未定」

未定

III. アンケート集計結果 (10分)

北野病院  
内田 洋一朗

IV. ミニレクチャー(20分)

テーマ:「肝胆膵外科高度技能医取得までの道」

北野病院  
内田 洋一朗

V. 第23回京都肝胆膵外科セミナーシンポジウム (60分)

テーマ 「膵頭十二指腸切除を見直すー高度技能専門医取得を意識してー」

高度技能医取得を目指したビデオセッション

VI. 特別講演 (60分)

タイトル「未定」

倉敷中央病院  
北川裕久